



三浦半島地域連合 news

発行日 2024年1月26日 第94号

発行 三浦半島地域連合

TEL:046-821-0005 Fax:046-821-3705

〒238-0006 横須賀市日の出町1丁目5番地ヴェルクよこすか3階

発行責任者:及川 政昭 編集責任者:篠原 恭久

4年振りに2024三浦半島地域連合新春の集い開催!
能登半島地震カンパ66,137円ありがとうございました。



1月22日(月)18時30分から横須賀三浦教育会館にて、2020年以來4年振りとなります『三浦半島地域連合2024年新春の集い』を開催しました。

新春の集いの受付では『能登半島地震支援カンパ』を行い66,137円集まりました。感謝を申し上げます。また、新春の集い開催前に被災地に対して哀悼の意を示します黙とうを行った後に新春の集いをスタートしました。



会場には、三浦半島地域連合の構成組織組員・OB会員など約180名の参加がありました。主催者を代表して及川議長より、4年振りの開催となったことに触れ、集まった皆さんに感謝するとともに、能登半島地震の支援についても継続的に行っていくことを誓いました。



また、来賓として連合神奈川前島副事務局長をはじめ、三浦半島4市1町の首長(三浦市・吉田市長、逗子市・桐ヶ谷市長、葉山町・山梨町長、鎌倉市・比留間副市長)、牧山参議院議員秘書、水野参議院議員秘書、三浦半島地域連合議員団、労働福祉団体の方も参加し、それぞれ代表者に挨拶や祝辞を頂きました。

三浦半島地域連合OB会の茂泉会長の乾杯ののち会場では、毎年恒例だったマグロ丼や大粒のいちご、オードブルなど、美味しい料理や飲み物を楽しみながら懇親を深めました。今年も三浦半島地域連合の役員がスタッフとなり、手作りの新春の集いを楽しんで頂くことが出来ました。



来賓挨拶終了後にはお楽しみみの抽選会を行い、カメロンパンの帽子をかぶった仲副議長の楽しい進行に会場は大いに盛り上がりました。その後、今井議長代行の閉会挨拶後に、及川議長と今井議長代行、茂泉OB会会長、前島連合神奈川副事務局長、近藤三浦半島地域連合議員団会議会長が壇上へ上がり、三浦半島地域連合と構成組織の益々の発展、能登半島地震の復興などに取り組む、団結ガンバローを行い、閉会しました。4年振りの新春の集いは大いに盛り上がりました。この新春の集いのパワーを2024春闘勝利や能登半島地震支援につなげていきます。



葉山町・町長選挙開票! 『山梨崇仁氏』 当選!



12月19日告示・24日投開票で行われました『葉山町・町長選挙』の結果を下記に報告します。推薦組織のおかげで圧勝することが出来ました。この結果を連合神奈川・三浦半島地域連合の政策・制度実現に結び付けていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。



葉山町・町長選挙結果報告

2023年12月24日(日)投開票

投票率 35.58% (前回無投票、前々回 41.87%)

連合神奈川・三浦半島地域連合推薦者

山梨 崇仁

7,431票 4期目当選

新人 鳥山 泰輔

2,002票



能登半島地震被災地支援カンパの活動にご協力をお願いします!!

～1/15 追浜駅・連合の日街頭行動、1/22 新春の集いで支援カンパ活動を行いました～

本年1月1日に発災しました『能登半島地震』は半島自体が隆起してしまうなど、これまでに経験のしたことがない被害をもたらし、死者も200名を超えています。被災地及び被災者に心よりお悔やみ申し上げます。1月4日には連合本部芳野会長からも声明が出されました。

この声明や災害状況を受けて、三浦半島地域連合は1月15日の連合の日街頭行動で緊急支援カンパを行い、1月22日開催の新春の集いでも緊急支援カンパを行うことを決定し、行いました。



集まったカンパは連合の日において10,182円、新春の集いで66,137円、合計76,319円集まりました。新春の集いまでに集まったカンパを、2月13日の一次集約までに、連合神奈川を通じて、連合本部に届け、被災地の復興に役立てます。

今後、二次集約の3月1日までに、再度連合の日や新江ノ島水族館閉館後貸切りなどで被災地支援カンパを行い、少しでも多くの支援カンパを集めたいと思います。

今回の『能登半島地震』における被害は地盤の隆起により、家屋・道路・生活インフラに大きなダメージを与えて、復興の道筋が未だたず、学校・障がい者・妊婦などが集団避難をする事態になっており、長い期間に渡り支援が必要になることが予測されます。

今後、連合本部・連合神奈川の要請に基づき、連合の日街頭行動や人が多く集まるイベントなどにおいて、被災地支援活動を行っていきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

「令和6年能登半島地震」に対する連合会長声明

日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の大地震が発生し、最大震度7を観測した地域もあった。同時に、大津波警報も発令され、1.2mを超える津波が観測されたほか、日本海沿岸に広く津波が押し寄せた。その後も最大震度5以上の強い余震が何度も発生し、多数の家屋の倒壊、土砂崩れ、インフラの寸断、さらには大規模な火災も発生するなど、各地で甚大な被害が生じている。一連の地震災害によって亡くなられた方々に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、負傷された皆様、住まいを失った皆様に心からお見舞いを申し上げます。あわせて、未だ安否不明の方々の一刻も早い救出を切に願う。

この地震によって、水道、電気、ガス、交通機関などの生活インフラに大きな影響が出ており、今なお多数の住民が避難所での生活を余儀なくされ、食料や生活物資が不足する中で不安日々を送っている。気象庁の発表では、当該地域では3年以上にわたり地震活動が続いていることもあり、当面、地震活動は継続することが予想されている。余震の続く中での復旧作業となることが見込まれており、避難の長期化による生活面の課題や雇用への影響も懸念される。政府・各政党には、被災者の救援とライフラインの復旧に全力を挙げるとともに、避難場所の確保や雇用の維持・確保など、住民の不安解消に向けて国を挙げた取り組みを求めます。

連合は、今回の地震災害に際して直ちに対策本部を設置し、カンパなどの活動を開始する。あわせて、被災地の復旧・復興や被災者の生活・雇用における安心に向けて、政府・政党、経済団体への要請行動など、必要な取り組みを展開していく。

近年の度重なる甚大な自然災害に対し、連合はその都度、労働運動の原点である「助け合い・支え合い」の精神を体現し、労働組合として社会的な役割を果たしてきた。今回も、連合に集うすべての構成組織・地方連合会が団結し、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、最大限の取り組みを展開していく。

以上

